

項目	区分	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	16年度 (%)
市 税	現年度分	6,783,410	6,625,790	97.7	97.3
	滞納繰越分	682,814	138,604	20.3	12.0
	計	7,466,224	6,764,394	90.6	89.7
主な徴収金	現年度分	5,987,364	5,922,374	98.9	—
	滞納繰越分	239,715	40,315	16.8	—
	計	6,227,079	5,962,689	95.8	—

※ 主な徴収金は、上・下水道料、保育料、介護保険料、住宅家賃、給食費、病院診療費などで滞納繰越分のあるものです。

平成17年度市税等の徴収実績

市の財政状況が非常に厳しい中、市税や各種徴収金の収入確保に向けた一層の努力が求められています。

このため、合併前からの滞納額を含む未収金の徴収強化を図るため、昨年9月から収納対策推進本部や滞納整理室を設置し、税務課や各担当課の徴収体制を強化するなど全庁挙げて滞納整理促進対策に取り組んでまいりました。今回平成17年度決算からその結果をお知らせします。

平成17年度市税(国保税を含む)の滞納繰越分の収入済額は、約1億3,800万円(前年度より約6,000万円増え、徴収率は20.3%で前年度と比較して8.3%向上しました。また主な各種徴収金の滞納繰越分の収入済額合計は、約4,000万円となりました。詳しくは表のとおりです。

税金は健全な社会を維持する上で大切な財源であり、使用料等の各種徴収金は受益に対する負担金です。今後とも納付者の皆さんの負担の公平性からもこれらの収入確保に厳正な対応を行ってまいります。皆様のご理解と納期内の納付についてよろしく申し上げます。

◆主な徴収への取り組み状況は次のとおりです。

- ・電話催告、訪問徴収の強化
- ・年末、年度末等の一斉滞納整理
- ・市外一斉出張徴収
- ・預金や給料などの積極的な差押の実施(市税差押59件)

(収納対策推進本部)

手紙

高齢者や障害者など交通弱者の生活に欠くことができないのがバスなどの公共交通機関です。ところが、安曇川町では「ふれあいバス」も廃止されるとのこと。その「ふれあいバス」も、今年以前年度利用した履歴があるものとみと制限されていました。

そして、広報には「現在運行されているバスを利用せよ」「大きな赤字を出しているから、そのバスをもっと利用せよ」と記載されています。どこか間違っていないでしょうか？ 何の対策も立てないで、ただ「乗れ」と言うだけなら誰でもできます。「乗る」ためにどういった工夫をすればいいのかを考えるのが福祉サービスではないのでしょうか？ 今の路線バスが、各地域を網羅して運転しているのでしょうか？ 同じ市内、町内であるにもかかわらず、最寄りのバス停まで2キロ以上もあつたり、不便を強いられている地域がどれだけでもあるでしょう。改善を強く望みます。



交通弱者に配慮した交通体系の整備を!!

返信

現在、市民の皆さんの日常生活を支える公共交通として「ミニ二タイプバス」を運行していますが、運行路線や運行時間、未路線地域の解消などまだまだ不十分な点があります。今後も引き続き利用状況などを精査し、実態に即した利便性の高い交通体系になるよう検討していきます。

あどがふれあいバスは、旧安曇川町における交通体系の創設の過程の中で、「ミニ二タイプバス」の要素を含ませながら、高齢者福祉の外出支援サービス事業として取り組んでまいりましたが、市の全体的な交通体系との調整と均衡を図り、10月1日から、路線バスが運行していない地域でのみ運行を継続しています。

福祉分野では、福祉総合交通利用助成事業により一定の基準を満たした障害者や高齢者に対して、バスやタクシーの利用助成券を発行しています。また、要介護者、要支援者、身体障害者、その他障害により単独では公共交通機関を利用することが困難な方については、民間機関のケア輸送サービスや社会福祉法人やNPO法人による福祉有償運送の整備を図っておりますので、ご理解とご利用をお願いします。

手紙

私はマキノ町に住む現在小6の子供を持つ親です。前々から感じていたことですが、マキノ中学校の制服は何十年も変わっていない。私の時代と同じ制服です。もっと今風の毎日着たくなるデザインのものに変えるべきだと思えます。何よりもセーラー服というものを着せてあげたい。セーラータイプのデザインに一新してください。同じ意見の保護者の方も何人もいらっしゃいます。

6年生の保護者にアンケートをとってみるなり、即決するなり、早急に対策をとってください。心からお願いたします。時代にあつたものを着させてあげたい。ささやかな親心を解ってください。

(マキノ地域・30歳代・女性)



中学校の制服を今風のデザインに!!

返信

マキノ中学校の女子生徒の制服は、30数年前に現在のブレザー型が採用されました。採用以来、在校生や卒業生、保護者の皆さんから「制服変更」のご意見などをお聞きすることがなかつたようで、これまで、学校やPTAでは、制服を変更するという方向での話し合いはしておりません。今回ご意見をいただきましたので、早速PTA役員会で紹介し協議していただくと思えます。ただ、もし変更することになって今年度の安曇川中学校の制服変更の例から、検討・決定から受・発注、縫製等を含めて少なくとも1年は必要であり、平成19年の4月から新制服にするというご希望が叶わぬ結果となりますが、どうかご理解くださいますようお願いいたします。

運動・スポーツに遅すぎる歳はない

100歳まで元気に歩きたい! 『元気な高齢者のまちづくり講演会』を10月28日(土)文化交流施設やまびこ館で開催しました。朽木出身で、現在びわこ成蹊スポーツ大学教授の大久保衛先生をお招きし、なぜ運動が必要か、男性・女性特有の足腰の問題などについて、先生が関わってこられた患者の手術前後の写真や映像を交えながら、専門的なこともわかりやすくお話ししてくださいました。また、薬に頼らずできるだけ自分



にあつた運動を毎日続けることが大事というお話の後には、NPO法人どろんこ保井きよ美さんから運動指導をしていただきました。講演会には朽木地域を始め周辺地域の高齢者約250人が参加し、この日をきっかけに元気な高齢者のまちづくりができそうな感触を得た1日でした。

(朽木支所住民課)

